



CSIに今年からいらっしゃった渡辺助教にインタビュー！

先生の研究とデータサイエンスのかかわりについて教えてください！

渡辺先生のご研究について、簡単にご説明いただけますか？



渡辺先生

社会調査法と教育社会学に関する研究をしています。社会調査法の領域では、SMS (Short Message Service) を用いた社会調査の方法論について研究しています。教育社会学の領域では、高学歴層の専攻分野と社会意識の関連について、計量社会的な研究を行なっています。



CSI

データサイエンスに興味を持ったきっかけを教えてください。



渡辺先生

学部時代に、社会学の理論的研究と経験的研究が二本柱の研究室に配属されたのがきっかけですね。抽象的な議論や身の回りに溢れる言説に対する、「それって本当かな」という素朴な疑問に、データで答えるというスタイルに惹かれました。



CSI

学生時代はどのようにデータサイエンスを勉強しましたか？



渡辺先生

社会調査法の授業でデータの取得方法、統計学の授業でデータ分析の基礎について学びました。あと、学内で公募のあった学生企画プロジェクトに応募して、新入生のニーズ調査を実施していました。いま思えば、単にデータサイエンスを学んだというだけでなく、何かしらの成果でもって、他者に説明できることにこだわっていた気がします。最近でいうところの、「ガクチカ」みたいなことを考えていたんだと思います。



CSI

現在のご研究で、どんな風にデータサイエンスを使っていますか？



渡辺先生

例えば、SMS 調査の研究では、無作為に生成された 11 桁の数字 (= 携帯電話番号) に対して、SMS で調査回答ページの URL を送ることで、日本社会の縮図となる回答データを取得することを試んでいます。これは、サンプリングや調査モードの話ですね。ただし、現在の SMS 調査は回収率の低さという問題があります。そのため、最近の研究では、調査を実施する条件をいくつか用意してみて、最も回収率が高くなる調査設計について検討しています。例えば、送付するメッセージの内容を一般的な調査依頼文にした場合とそうでない場合で、調査対象者を無作為に割り付けて、それぞれのグループの回収率を比較するという研究です。こうやってしまうと、やや込み入った話に聞こえてしまうかもしれませんが、実際に行っているのは、記述統計学における平均値の算出や推測統計学におけるカイ 2 乗検定などです。



CSI

最後に、この記事を読んでいる学生に一言お願いします！



渡辺先生

データサイエンスと「ガクチカ」の間には、一見すると距離があるように思えるかもしれませんが。しかし、実社会のデータを二次分析するコンペティションなど、データサイエンスが皆さんの「ガクチカ」になる機会は、十分に開かれています。そして、CSI では、皆さんがそうしたコンペティションに参加できるよう、サポート体制を整えています。もちろん、データサイエンスをオンデマンドで学ぶ環境も提供していて、それぞれの状況に応じて、CSI の活動に興味を持ってもらえたら嬉しいですね。



CSI

統計やデータ分析の学びを実践！学外コンテストにチャレンジしよう！

CSIでは統計分析やデータサイエンスの学外コンペティションを紹介しています。表面のインタビューに答えてくださった渡辺先生のように、皆さんも日頃の勉強の成果を試してみませんか？

統計データ分析コンペティション2023 (独立行政法人統計センター)



地域別の統計をまとめたSSDSE（教育用標準データセット：Standardized Statistical Data Set for Education）などの統計データを分析した論文を募集し、アイデアと解析力を競うコンペティションです。優秀作品には、総務大臣賞、優秀賞、統計数理賞、統計活用奨励賞、特別賞が授与されます。また、受賞論文が統計専門誌に掲載されます。

対象：高校生・大学生・一般
エントリー期間：2023年5月10日（水）～8月9日（水）
<https://www.nstac.go.jp/use/literacy/statcompe/>

マーケティング分析コンテスト2023 (野村総合研究所)



野村総合研究所が調査を行った消費者マーケティングデータを提供し、データ分析による斬新なビジネスの法則、マーケティング指標等を導き、その内容を競います。今回のコンテストでは、「不確実性を乗り越えるデータドリブンマーケティング」をテーマに、企業の広告やマーケティング活動において役立つ研究成果を募集します。

最優秀賞には賞金20万円、優秀賞には賞金10万円、佳作には賞金5万円が授与されます。

対象：年齢、国籍、職業（社会人、学生）不問。グループでの応募も可能。
エントリー期間：2023年5月15日（月）～9月30日（土）
<https://www.is.nri.co.jp/contest/2023/index.html>

第7回 和歌山県データ活用コンペティション (和歌山県)



和歌山県は、総務省統計局や統計センターとともに、「日本のデータ活用拠点」として、データ活用に関する分析・研究や情報発信、人材育成、連携・支援に取り組んでいます。その取り組みの一つとして、データ活用の重要性・有用性を発信するとともに、次世代の日本を担うデータサイエンス人材を育成すべく、全国の高校生、大学生等を対象に、行政課題に対するデータを利活用した解決アイデアを募集するイベント「和歌山県データ活用コンペティション」を平成29年から開催しています。

今年度は「ウィズコロナ時代における地域の交流人口を拡大するための施策」をテーマに、データを利活用したアイデアを募集します。大賞には商品券20万円、データ利活用賞には商品券5万円、政策アイデア賞には商品券5万円が授与されます。

対象：高校生・大学生
エントリー期間：2023年4月1日（土）～10月19日（木）
<https://datarikatsuyou.pref.wakayama.jp/jinzai/competition/>

2023年度 スポーツデータサイエンス コンペティション



スポーツの場に存在する問題解決に寄与することを目的に、データ分析だけでなく、データの取得やその効果的な利活用を促進するシステムの設計・開発等も含めた、スポーツデータを利用したスポーツの場の問題解決を競うコンペティションです。2022年度からはスポーツのデータ提供も始まりました。スポーツが好きの方、あるいはこれまでに身につけた統計の力を試してみたい方など、興味のある方はこの機会にぜひ参加してみましょう。

対象：本学学生、大学院生（学部生・博士前期課程のみでの応募は不可）
※6月12日に、今年度も開催することが発表されています。申し込み参加資格等の詳細については、ホームページを確認してください。

<https://sports.ywebsys.net/>

● 関連情報

CSIではほかにも、社会調査士や統計検定、グローバル教養副専攻のデータサイエンスコースなど、資格や副専攻の取得もサポートしています。それぞれの詳細については、下記のQR記事をお読みください。また、ご質問がある場合には、池袋キャンパス8号館4階にある社会情報教育研究センターの窓口にお気軽にお越しください。

社会調査士資格とは？



統計検定とは？



グローバル教養副専攻・ データサイエンスコースについて



■ News Letter 第11号 2023年7月発行

- 編集責任者：砂川浩慶（CSIセンター長）
- 編集者：山口和範（統計教育部会）
- 編集・発行：社会情報教育研究センター（CSI）

- Tel : 03 - 3985 - 4459
- Email : csi-info@rikkyo.ac.jp
- <https://spirit.rikkyo.ac.jp/csi>
立教大学 池袋キャンパス 8号館4階

